

幸消防団だより

第70号

令和6年8月発行
川崎市幸消防団
団長 高橋 克明
広報委員会編集

団長挨拶

幸消防団 団長 高橋 克明



本日ここに、第50回幸消防団ポンプ操法大会を挙行するにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、消防団関係の皆様など、多数の方々のご臨席をたまり、厚く御礼申し上げます。

さて、本大会は、消防団員が火災防ぎょ活動をするにあたり、規律ある行動、的確な命令・伝達、正確な小型ポンプ操作技術、および火点への正確な放水を競うなどし、災害現場における対応能力の向上、さらに、士気の高揚を図ることを目的としております。

選手の方々には、日ごろの訓練成果をいかに発揮し、ご臨席の皆様方に、安全、確実、迅速な操法を披露していただきたいと思っております。

また、本大会の優勝分団及び準優勝分団には、6月30日に実施される川崎市消防団操法大会に幸消防団の代表として、出場していただきます。

出場隊員は、市大会出場を目指し、大いに奮闘されることを期待いたします。

結びになりますが、本日、ご来賓の皆様方、ご臨席いただきました皆様方におかれましては、消防団活動に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、訓示いたします。

署長挨拶

幸消防署 署長 永岡 敦司



皆さん大変お疲れ様でした。

幸消防署長の永岡でございます。団員の皆様方には、早朝より、操法大会の準備を始め、競技の実施、運営など、団員が一致協力して、第50回幸消防団ポンプ操法大会が、このように盛大に挙行されましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、本日は、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様には、早朝から、お忙しい中ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

皆様方の熱い声援を頂き、本大会も盛会裏のうちに終了することができました。改めて御礼申し上げます。

それでは、本日の講評をさせていただきます。

はじめに、本日の大会に向け、3月の寒い時期から2カ月以上にわたり、仕事を終えたあとに、訓練に取り組んでこられました、各選手の皆様のご苦労に対しまして、心から敬意を表します。

また、出場選手を陰で支えてこられた、各分団員の皆様とご家族の皆様に対しまして、心から敬意を表するところでございます。

さて、本日は20代の選手、初めて出場した選手が多かったと聞いております。拝見させていただきました皆様方のポンプ操法は、規律厳正にして士気旺盛であり、安全、確実、そして迅速な大変素晴らしいものでありました。訓練の成果を、地域の方々の前で、遺憾なく発揮していただけたものと思われまます。

さらに、本日はポンプ操法のほか、消防団員4名による日本赤十字救急法競技会の実演において素晴らしいパフォーマンスを披露していただきました。今後においても、救急法の技術が多くの皆様に伝わることを期待しております。

さて、優勝を収められました第2分団、準優勝の第1分団の選手の皆様におかれましては、本当におめでとうございます。

また、敢闘賞となった第4分団、第3分団には、本日の悔しさをバネにして、次回、優勝を目指して頑張ってくださいと思います。優勝されました第2分団、準優勝の第1分団は、6月30日に開催されます川崎市消防団ポンプ操法大会に出場することになりますので、今度は幸消防団の代表として、引き続き、訓練に取り組んでいただきますようお願いいたします。

本日、ご披露いただきましたポンプ操法により、幸消防団の存在について、地域の方々も心強く、また、頼もしく感じているものと存じます。

まもなく梅雨を迎え、集中豪雨等による水害が発生する時期となりますが、消防署といたしましては、消防団との連携をより一層深めながら、管内の安全をさらに高めてまいり所存でありますので、消防団員の皆様におかれましては、地域の防災リーダーとして、今後とも訓練に励んでいただき、区民の安心・安全のためご尽力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、この操法大会の運営にご支援、ご協力を賜りました関係団体の皆様方、また、早朝からご臨席いただきました、ご来賓の皆様方には心からお礼申し上げますとともに、幸消防団の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、講評いたします。

本日は、大変お疲れ様でした。

第50回 幸消防団ポンプ操法大会

令和6年5月12日(日)河原町グラウンドにおいて、第50回幸消防団ポンプ操法大会を開催しました

大会結果

優勝 第2分団 準優勝 第1分団 敢闘賞 第3分団・第4分団
個人賞 指揮者 班長 三原 俊之(第4分団) 1番員 団員 花久 海成(第3分団)
2番員 団員 小山 飛鷹(第2分団) 3番員 部長 田澤 慶克(第1分団)



祝 第2分団 優勝

第2分団 坂井分団長

幸消防団ポンプ操法大会を終え、訓練場所の提供にご協力をいただきました(株)東芝様及び三井不動産(株)様をはじめ、応援をいただきました皆様には改めて御礼申し上げます。

本年4月に分団長を拝命してから初めて臨んだ操法大会であり、初出場の団員を中心としたチームで不安もありましたが、選手の努力と分団力により、おかげさまで優勝という成果を納めることができました。選手の皆さん、日々の訓練大変お疲れ様でした。

川崎市大会へは、「勝って兜の緒を締めよ」の精神で、今まで以上に分団力を発揮した操法ができるよう臨んでまいります。

地域の皆様へは、引き続き第2分団の消防団活動にご理解とご協力を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。



個人賞を受賞した団員のコメント

指揮者の部 班長 三原 俊之(第4分団)



大会直前までの訓練ではなかなか安定しない操法でしたが、迎えた本番ではチームとして今まで以上の実力を発揮出来たのでは?と感じていました。しかし結果としては二歩も三歩も及ばず、更に操法技術が向上となる様に改善の上、次回の大会に挑む所存です。今大会に向け訓練が行えたのも、指導員、団員と家族のサポートのおかげです。改めて感謝いたします。

大会直前までの訓練ではなかなか安定しない操法でしたが、迎えた本番ではチームとして今まで以上の実力を発揮出来たのでは?と感じていました。しかし結果としては二歩も三歩も及ばず、更に操法技術が向上となる様に改善の上、次回の大会に挑む所存です。今大会に向け訓練が行えたのも、指導員、団員と家族のサポートのおかげです。改めて感謝いたします。

1番員の部 団員 花久 海成(第3分団)



今回のポンプ操法大会を通じて自分がまた一段と成長したと感じました。私は1番員として出場し、ホースを持ち運ぶことの難しさや、細かな節度に対して特に苦戦しました。また選手同士の年齢が近かったこともありとても

良い雰囲気での練習できたと思います。さらに操法大会を経験したことで自分ができるようになる自信が付き、他にも様々なことを学びたいと感じました。今回の操法大会の経験をもとにこれからの地域活動に対して貢献できたらと思います。

2番員の部 団員 小山 飛鷹(第2分団)



今回初の操法大会の参加で、最初は何も分からず不安でした。ですが、第2分団の先輩方に一から教わり今まで第2分団の先輩方が積み上げてきた操法大会への気持ちや技術などを学ぶことができました。

4人中3人が初参加ではありましたが、区大会優勝ができたのも指揮者沼澤副分団長をはじめ第2分団の団結力や先輩方の指導のがあったから勝ち取れたものだと思います。

市大会へ更に精進し優勝目指したいと思います！

3番員の部 部長 田澤 慶克(第1分団)



自身、7年ぶりに選手として操法大会に参加させて頂いた結果、個人賞を頂くことが出来ました。これもひとえに第1分団の皆さまのご協力を頂きました事のみならず、他分団の皆さまからもご指導ご鞭撻を頂いてきた賜物

と思っております。

これからも、消防団員として精進して参りたいと思います。

操法大会で赤十字救急法競技会実演を披露しました

赤十字救急法競技会は、日本赤十字社神奈川県支部が行っているもので、幸消防団で初めてエントリーし、訓練を重ねていましたが、1月1日の能登半島地震における対応で中止となり、操法大会の会場でお披露目をさせていただきました。複数の傷病者の発生を想定し、1チーム4人で救護活動を行う競技です。私たち消防団は、これからも消火活動はもとより、救護活動、啓発活動にも力を入れてまいります。

リーダー

第4分団 出口 智子

副リーダー

第4分団 小西 明日香

第2分団 小山 飛鷹 池永 匠真



受賞おめでとう ございます!

【日本消防協会長表彰】令和6年3月8日付

●勤続章

本 団 副団長 中西 善博



【神奈川県知事表彰】令和6年3月27日付

●永年勤続優良消防団員(30年)

本 団 副団長 中西 善博

【神奈川県消防協会長表彰】令和6年3月27日付

●功績章

第1分団 副分団長 木村 雅子

●勤続章(20年)

第4分団 部 長 中井 康裕

第4分団 班 長 斉藤 真也

第4分団 班 長 斉藤 裕也



退団された方々

○令和6年1月31日付

元第4分団 団 員 小野寺 優斗様

○令和6年3月31日付

元本 団 副団長 中西 善博様

元第2分団 団 員 山口 和之様

元第3分団 団 員 直井 渚様

○令和6年4月30日付

元第1分団 団 員 玉置 美由樹様

永い間
お疲れさまでした



幸消防団幹部

令和6年4月1日付

本 団	幸消防団長	高橋 克明
	副 団 長	蒲田 賢
	副 団 長	中村 泰司
	庶 務 部 長	細谷 三康
	警 護 部 長	村石 勉
	消 防 部 長	西田 治
	広 報 部 長	吉岡 雅之
第1分団	分 団 長	生方 清
第2分団	分 団 長	坂井 幸一
第3分団	分 団 長	成川 秀幸
第4分団	分 団 長	岩瀬 宏



幸消防署へ着任した職員

令和6年4月1日付

幸 消 防 署 長	永岡 敦司
副 署 長	
(予防課担当課長兼務)	吉村 秀久
予 防 課 庶務係長	早川 圭一
警防第1課 救急係長	岡崎 秀光
担当係長	山中 祥
加瀬出張所長	牧野 智臣
警防第2課 調査係長	萩原 伸一郎
救急係長	大沼 孝至
南河原出張所長	庭田 誠



消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。



資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。

・班長以上の階級に3年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。

問合せ先 幸消防署予防課消防団・防災支援係

TEL: 044-511-0119 FAX: 044-544-0119

編集後記

幸消防団だより 70号をお届けします。

発行に当たり、関係各位のご寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明

編 集 幸消防団広報委員会

広報部長 吉岡 雅之

第1分団 木村 雅子

第2分団 鈴木 盛樹

第3分団 遠藤 多恵子

第4分団 菅原 文夫

菅 徹之

中間 邦之

三原 幸子

青木 真弓



令和6年度 川崎市消防団操法大会

令和6年6月30日 川崎市中央卸売市場北部市場



第2分団 第4位(優良賞)
タイム 43.78秒 総合得点 85.0



第1分団 第11位(敢闘賞)
タイム 58.86秒 総合得点 61.0

【指揮者 副分団長 沼澤 貴能】左写真 左1番目

他の番員が私の3分の1ほどの年齢で、自分自身がついていけるか心配でしたが、若い3人の気遣いと励ましで、最後まで頑張ることができました。結果としてとても楽しい操法大会となりました。



【1番員 団員 堀本 海吏】左写真 左2番目

生業の傍ら、選手一同のために時間を割いてご指導くださった先輩方、ともに競い合った選手の皆さん、その他すべての関係者の方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【指揮者 班長 菅 徹之】右写真 左1番目

団員の結束力と訓練の重要性を改めて実感しました。また、大会を通じて迅速かつ確な対応及び安全の大切さを再確認することができました。更なる技術向上を目指し精進します。



【1番員 班長 日下 和也】右写真 左2番目

消防団に入団して10年、コロナ禍を除いては毎年選手を努め先輩 達から沢山教えていただきました。今大会は残念な結果でしたが、七転八起、仲間と共に一味同心で頑張ります。



【2番員 団員 小山 飛鷹】左写真 左3番目

何も分からず不安しかありませんでしたが、操法技術を1から教えていただき、自分たちの成長を確実に感じることができた形にすることができました。大会を通して、自分の人としての成長、分団の団結力、消防活動への意識の向上など、素晴らしい経験ができたことを誇りに思います。



【3番員 団員 池永 匠真】左写真 左4番目

正直悔しさはありますが、それ以上に楽しい経験ができたことが何より良かったです。大会から、チームの団結力の大切さを強く感じることができました。大災害でも、分団の方々と一つになって活動できるよう 精一杯努めていきます。



【2番員 部長 田澤 慶克】右写真 左3番目

消防団に入って初めて川崎市 大会に出場しましたが、楽しくできたと思います。応援ありがとうございました。



【3番員 副分団長 滝口 太志】右写真 左4番目

この歳で市操法大会に参加するとは思っていませんでした。機会を与えていただき感謝しております。まだまだ若い団員には負けていないと思っておりましたが、他分団の若い団員を見ると第1分団にも「若い力が欲しい」とうらやましく思ってしまう。第1分団の選手の平均年齢は55歳でした。





「分団力」

初めて操法大会に臨む選手が多かった中で、こうした結果を納めることができたのは、選手各々の向上心とひたむきな努力、指導及びサポートする団員の尽力が一つに重なった結果と感じております。第2分団は、操法大会への出場を通して高めることができた「分団力」を活かし、地域へ貢献ができる分団を目指してまいります。

【第2分団 分団長 坂井 幸一】

「大会を終えて」

川崎市操法大会に幸区を代表して参加することができ大変光栄に思っております。

3月から行ってきた日々の訓練成果を十分に発揮できなかったことは残念でしたが、選手たちを中心に、心一つにする時間を過ごせたことが分団長として嬉しかったです。応援してくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

【第1分団 分団長 生方 清】